ヤマネ

【県内生息地】鹿児島県本土（地域を定めず指定）
【種　　別】国指定天然記念物
【指定年月日】昭和 50 年 6 月 26 日

ヤマネ科の１属１種の小さな獣で，頭胴長約８ cm，尾長約５ cm である。背中の黒い線とリスのようにふさふさした尾が特徴である。

山地の森林内に生息し，昼間は樹洞などにひそみ，日没から日の出前まで活動する。活動はおもに樹上で行い，昆虫などを捕らえるが，これらがいなくなる冬季には，落葉や樹洞の中で冬眠する。目撃例は多くないが，鳥の巣箱や山小屋に巣を作り，話題になることがある。

日本固有種で，本州，四国，九州に分布する。本県では，大口国見山地，霧島山地，高隈山地や肝属山地などに生息情報があるが，生息密度などの調査は行われていない。